

登別市中央地区まちづくり協議会 第7回ワーキンググループ 議事録

開催概要

日 時 令和5年9月13日(水) 18:00~19:30
場 所 登別中央ショッピングセンターアーニス 2階 あえるSTATION
出席者 ワーキンググループ委員 別紙のとおり
事務局・オブザーバー 別紙のとおり
登別市職員：鳥海主査(市民協働G)

議事内容

1 開会

事務局(総務部本庁舎整備推進グループ)が進行

2 今後のWG(ワーキンググループ)における協議事項について

【協議会における協議結果の報告】

○コンセプトの決定

ワーキンググループからは協議会に3つのコンセプト案を提案した。協議会当日には、ワーキンググループの委員から、提案したコンセプト案に込められた思いなど、協議会の委員の方に説明していただいた。

協議会において、様々な意見が出る中で、ワーキンググループで提案された案をできるだけ採用するようにした結果、コンセプトを「観光とまち つながる つなげる 人と人 ホットするまちづくり」に決定した。コンセプトに込められた想いとしては、観光とまち、人と人とがつながり、つなげていくことで、人が集まり知恵を出し合い、にぎわい溢れるまちを皆で創り上げ、さらに、そのすばらしいまちを次の世代へとつなげていきたい。また、どの世代の人でもホットとできる、目的がなくても行きたくなるようなまち、一度登別を離れても戻ってきたくなるまち、そのような魅力ある温かい(ホットする)まちになってほしいとの想いが込められている。

○今後のWGにおける協議事項について

協議会において、今後、ワーキンググループで協議していく事項として、中央地区の活性化に向けた取組として、

- (1) 現庁舎、アーニス周辺的环境整備
- (2) 中心地にある商業施設の活性化
- (3) 現庁舎跡地の具体的な利活用方法

の3つの事項を協議していくことが決定した。

なお、「(2) 中心地にある商業施設の活性化」については、中央ショッピングセンターアース内の市観光経済部執務室の利活用による活性化を想定している。この執務室は商業施設内にあることから、新庁舎移転後における早急な利活用が必要となること、また、ある程度早い段階で方向性を決めていかなければ国の補助金の活用も見込めないなどの理由から、「(2) 中心地にある商業施設の活性化」を先行して協議を進めていくこととなった。

○今後のスケジュール

協議会において、本年6月に中央地区のまちづくりに関するコンセプトを決定し、同年7月にワーキンググループで今後協議する事項を決定した。

今後、ワーキンググループでは、来年1月頃まで協議を続け、最終的には、来年1月に提言書を取りまとめて協議会に提案することを予定している。その協議と並行して、市では跡地に関するサウンディング型市場調査を実施し、民間事業者の利活用に関する提案や市場性の有無などを把握していきたい。この調査結果も踏まえて、協議会及びワーキンググループでの協議も進めていただきたいと考えている。さらに、市が提言を受けたあと、市内部で協議を行い、市の方向性を決定していきたいと考えている。

なお、必ずこのスケジュールどおり進めないといけないというわけではないので、協議の進捗状況によっては、このスケジュールが変更となることも想定される。

【ワーキンググループにおける協議】

○中心地にある商業施設の活性化

(事務局)

中心地にある商業施設の活性化に関する協議としては、アースを想定している。現在、市の観光経済部がアースの一部を使用しているが、市役所新庁舎完成後は新庁舎へ移転するため、空きスペースが今後の課題になってくる。

市内のまちづくり団体に所属している方から、本協議会の委員に対して提言書の提出があったので、参考に見てもらいたい。(図書館とそれ以外の施設からなる複合施設を設置し、そこを中心としたまちづくりを目指す案など)

アースの空きスペースの有効活用が課題という話をしたが、アースは公共施設ではないことから、この施設に携わっている方のご意見をいただきたい。

(委員A)

アースの活性化ということで考えれば、集客力のある店舗に出店してもらいたいという手法だと思う。ただ、過去2年間、大型店舗に対してアースへの出店を打診しているが、人口規模の問題などで厳しい状況にある。各種補助金の有効活用を含めて、アースの活性化について協議してもらいたい。

(事務局)

本日の協議としては、図書館に限らず、アーニスの活性化について協議していただきたい。また、仮にアーニスに図書館を移転した場合のメリットとデメリットについても協議をお願いしたい。

今回の協議内容を一度皆さんが所属している各団体に持ち帰っていただき、団体の中で協議を行ったうえで、次回ワーキンググループの開催時に各団体の意見を持ち寄っていただきたい。

【参加した委員等からの主な発言】

グループ①

<図書館以外の活用方法>

- ・図書館だけではなく、フリースペースも併設してはどうか。フリースペースでは、他店舗で購入したもので飲食をする、勉強をする、自販機を設置する、ブランド品のイベントなどを行うことができる。
- ・蔦屋書店を参考にしてはどうか。
- ・図書館だけではなく、コワーキングスペース、カフェ、コピーサービスなどがあればいいのではないかと。カフェはスターバックスのような企業が出店してくれるのは難しいため、地元企業に担ってもらえることもできると思う。

<アーニスに図書館が移転するとした場合のメリット>

- ・図書館の集客力。

<アーニスに図書館が移転するとした場合のデメリット>

- ・民間委託をした場合、採算性の問題があるのではないかと。
- ・退去しなければならなくなった場合、蔵書の保管場所に困るのではないかと。
- ・重要図書の保管場所がなくなる。

グループ②

<図書館以外の活用方法>

- ・「賑わい」をテーマに、「官」「民」「地域」がそれぞれ協力するというコンセプトは良いと思うが、【色々な人】というくりだと、対象が大きすぎるのでターゲットを絞って「官」「民」連携の施設やイベントを実施する方がいいのではないかと。
- ・カフェスペースやキッズスペースがあっても良いと思う。雨が降っても遊べる場所がない。
- ・イベントスペースや道の駅のような地場産の物を売ったり、情報発信できるような場所が必要ではないかと。
- ・レンタルスペースを利用して、毎週、毎月イベントをやって集客してもいいのではないかと。

- ・ レンタルスペースを、起業したい人向けに簡易的なオフィスとして貸し出したり、物販をしたい人向けに貸し出すのはありだと思う。「起業したい」「試しに売ってみたい」という人が気軽にチャレンジできる場所にもなる。

- ・ 個展も開催できる。

<アーニスに図書館が移転とした場合のメリット>

- ・ 色々な人が集まるという点では、賑わいは生まれると思う。

- ・ 商業施設という点を逆に「うるさい図書館」という新しいコンセプトの図書館としてオープンできるのではないか。

- ・ 場所として、駐車場が増えるなど利点は多いと思う。また、新規の利用者も獲得できるチャンスはある。

<アーニスに図書館が移転とした場合のデメリット>

- ・ 静かなイメージのある図書館で、商業施設としてその性質を保つことはできるのか疑問。

- ・ 図書館だけだと、収益が見込めないのではないか。飲食店と併設するなど+αが必要になる。

- ・ 「図書館」が入ると、今後、収益や集客が見込める企業や団体があっても、すぐに利益優先にシフトしにくくなるのではないか。（フットワークが重くなる）

3 その他

○次回開催予定

- ・ 10月上旬頃を予定

4 閉会

19時30分 閉会

以上